

	世界遺産 （世界文化遺産）	GIAHS （世界農業遺産）	世界ジオパーク
理 念 （全体）	遺跡、景観、自然など人類が共有すべき「顕著な普遍的価値」あるものの保護	伝統的な農業と維持してきた技術や風習、取り巻く生物多様性の保全と持続的活用	地球科学的に見て重要な活動遺産を保全、教育、ツーリズムを通して持続可能な社会の構築に寄与する
認定機関	<u>UNESCO</u> （国連教育科学文化機関）	<u>FAO</u> （国連食糧農業機関）	<u>GGN</u> （世界ジオパークネットワーク） （2015.11ユネスコ正式事業化）
開始年	1972年	2002年	2004年
登録・認定数 （2018.12現在）	845件（文化遺産）	21国57地域	35国127地域
法的取組	条 約	公式プログラム	公式プログラム
主 眼	普遍的価値のある遺蹟や建造物の保護	農業（資産）システム	大地（地球）の利活用の仕組み作り

	世界文化遺産	GIAHS (世界農業遺産)	日本ジオパーク
理 念 (全体)	遺跡や建造物など人類が共有すべき「顕著な普遍的価値」あるものの保護	伝統的な農業と維持してきた技術や風習、取り巻く生物多様性の保全と持続的活用	地球科学的に見て重要な活動遺産を保全、教育、ツーリズムを通して持続可能な社会の構築に寄与する
推薦機関	<u>文化庁</u>	<u>農林水産省</u>	<u>日本ジオパーク委員会</u> (JGC) ※日本ジオパークネットワーク(JGN)
開始年	1992年 ※条約批准	2014年	2008年
登録・認定数 (2018.9現在)	18件	11地域	世界ジオパーク: 9地域 日本ジオパーク: 44地域
法的取組	条 約	公式プログラム	公式プログラム
主 眼	普遍的価値のある遺蹟や建造物の保護	農業(資産)システム	大地(地球)の利活用の仕組み作り

	世界文化遺産	GIAHS (世界農業遺産)	佐渡ジオパーク
【施 策】 将来ビジョン まち・ひと・しごと創生総合戦略	○観光地域づくりの推進 ・佐渡版DMO中心とした滞在交流型観光の推進 ○世界的3資産を中心とした島の魅力とおもてなしの心で観光、交流を促進する ・島の魅力の発信 ・観光客の受入環境の整備とおもてなしの醸成	○観光地域づくりの推進 ・佐渡版DMO中心とした滞在交流型観光の推進 ○島の資源を活かし、元気な産業と安定した雇用を創出する ・高品質な佐渡米の生産推進による農業経営の安定化 ○世界的3資産を中心とした島の魅力とおもてなしの心で観光交流を促進する ・島の魅力の発信 ・観光客の受入環境の整備とおもてなしの醸成	○観光地域づくりの推進 ・佐渡版DMO中心とした滞在交流型観光の推進 ○世界的3資産を中心とした島の魅力とおもてなしの心で観光、交流を促進する ・島の魅力の発信 ・観光客の受入環境の整備とおもてなしの醸成
担当課	世界遺産推進課 (登録推進係) <small>(新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室)</small>	農業政策課 (里山振興係)	教育委員会社会教育課 (ジオパーク推進室)
開始年	2004年	2010年	2011年
認定・現状	2012年 暫定リスト入り 2020年 国内推薦目標	2011年 認定 ※先進国で初めて	2013年 日本ジオパーク認定 2017年 日本ジオパーク条件付再認定
再審査			4年1回(次回は2年後)
目 的	・世界的価値の構成資産の <u>保護、維持、公開、(活用)</u>	・高付加価値販売による収益性の高い営農体制の構築 ・農業の持続可能性を高める	・郷土愛の醸成 ・持続可能な地域社会の構築